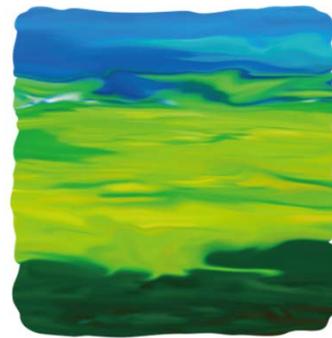


持てるすべてを「いのち」に向けて。

Dedicated to sustaining all life.

# 2018年度決算概要説明資料



NORINCHUKIN

農林中央金庫

2019年5月22日

# 目次

2018年度決算の概要	・・・P3
市場運用資産(CLO)について	・・・P12

# 2018年度決算の概要

# 2018年度決算の総括

- 外貨調達コストの増加等を受け減益となるも、安定的に収益を確保。自己資本比率は引き続き高水準

## 収益

【連結】 (単位: 億円)

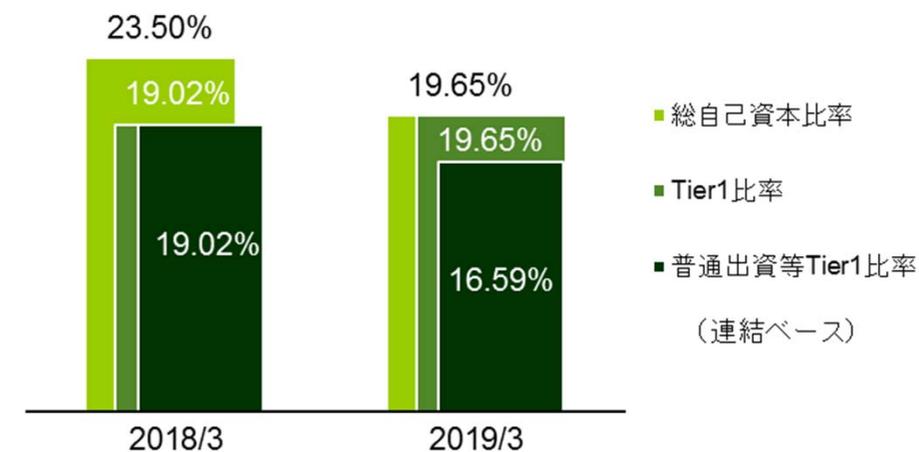
	2017年度	2018年度	増減
経常利益	1,710	1,245	▲ 464
純利益	1,476	1,035	▲ 440



## 自己資本比率 (バーゼルⅢ国際統一基準)

【連結】

	2018/3末	2019/3末	増減
普通出資等Tier1比率	19.02%	16.59%	▲ 2.43%
Tier1比率	19.02%	19.65%	0.63%
総自己資本比率	23.50%	19.65%	▲ 3.85%



# 損益の状況

## ■ 新規投資の積み上げ等により経常収益は増加したものの、外貨調達コストの増加等を受け減益

【連結】

(単位: 億円)

	2017年度	2018年度	増減
1 経常収益	14,499	17,321	2,821
2 うち資金運用収益	11,468	13,112	1,644
3 (有価証券利息配当金)	10,502	11,784	1,281
4 (貸出金利息)	794	1,085	291
5 経常費用	12,789	16,076	3,286
6 うち資金調達費用	10,213	12,691	2,478
7 (信連等調達費用)	3,395	3,473	78
8 うち事業管理費	1,628	1,620	▲ 8
9 経常利益	1,710	1,245	▲ 464
10 税引前純利益	1,838	1,242	▲ 596
11 親会社株主帰属純利益	1,476	1,035	▲ 440

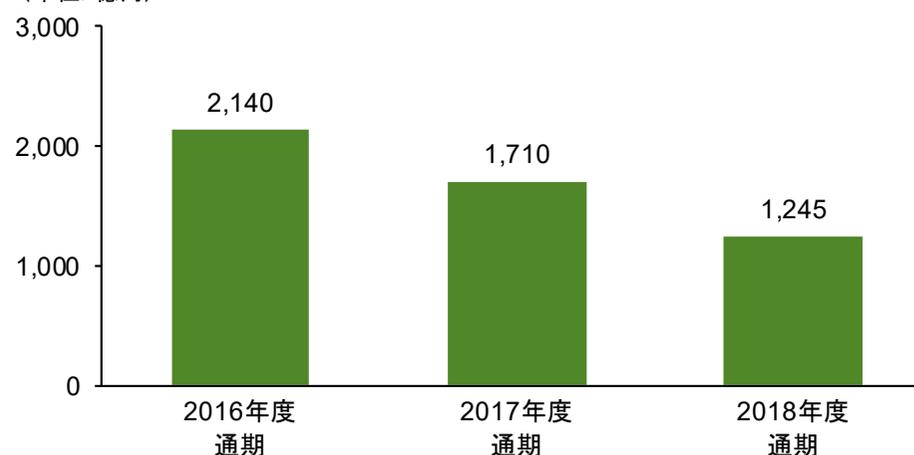
【単体】

	2017年度	2018年度	増減
12 経常利益	1,588	1,174	▲ 414
13 純利益	1,299	1,006	▲ 293
【参考値(単体)】			
14 有価証券売却損益	228	663	434
15 与信関係費用(▲)(注)	▲ 40	19	59
16 有価証券償却(▲)	11	4	▲ 6

注: 与信関係費用のマイナス(▲)は戻入

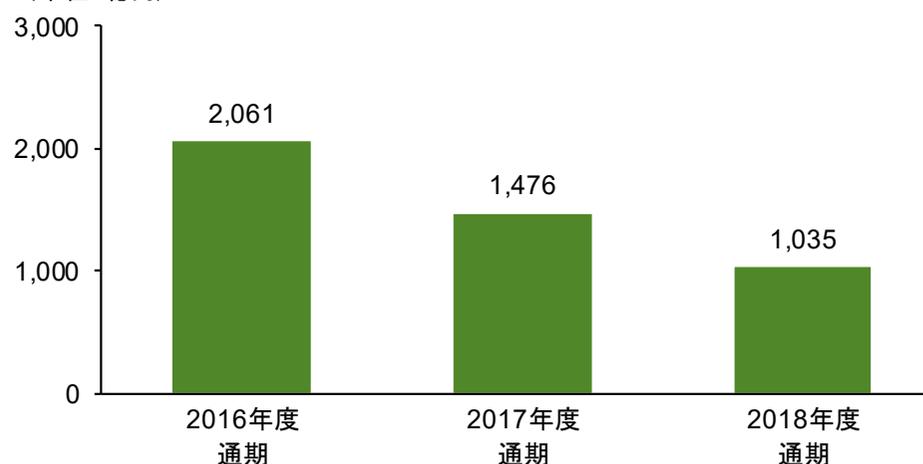
### 経常利益の推移 (連結)

(単位: 億円)



### 純利益の推移 (連結)

(単位: 億円)



# バランスシート状況

## 貸出の伸長・新規投資の実施等により貸出金・有価証券等は増加

【連結】 (単位: 億円)

	2018年3月末	2019年3月末	増減
1 貸出金	118,589	186,130	67,540
2 有価証券	523,218	556,587	33,368
3 金銭の信託	74,397	86,673	12,276
4 現金預け金	287,563	189,416	▲ 98,147
5 その他	45,508	40,731	▲ 4,777
6 資産の部合計	1,049,277	1,059,539	10,261
7 預金等(注)	672,047	678,451	6,404
8 農林債	17,664	12,542	▲ 5,122
9 売現先勘定	150,806	151,112	306
10 その他	141,297	142,699	1,401
11 負債の部合計	981,816	984,806	2,989
12 純資産の部合計	67,460	74,732	7,271

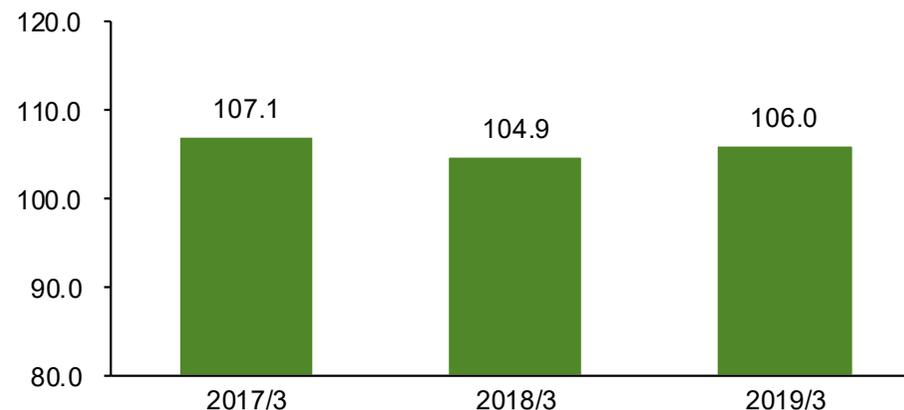
注: 預金等は会計上の預金および受託金(会員からの短期資金受入が大半)

【単体】

	2018年3月末	2019年3月末	増減
13 資産の部合計	1,034,176	1,041,768	7,591
14 負債の部合計	967,635	967,949	314
15 純資産の部合計	66,540	73,818	7,277
16 その他有価証券評価損益	15,847	20,699	4,852

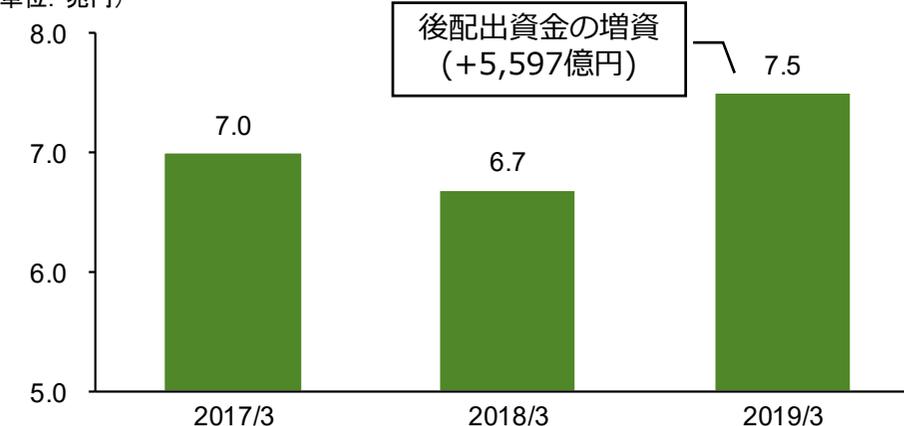
## 総資産の推移 (連結)

(単位: 兆円)



## 純資産の推移 (連結)

(単位: 兆円)

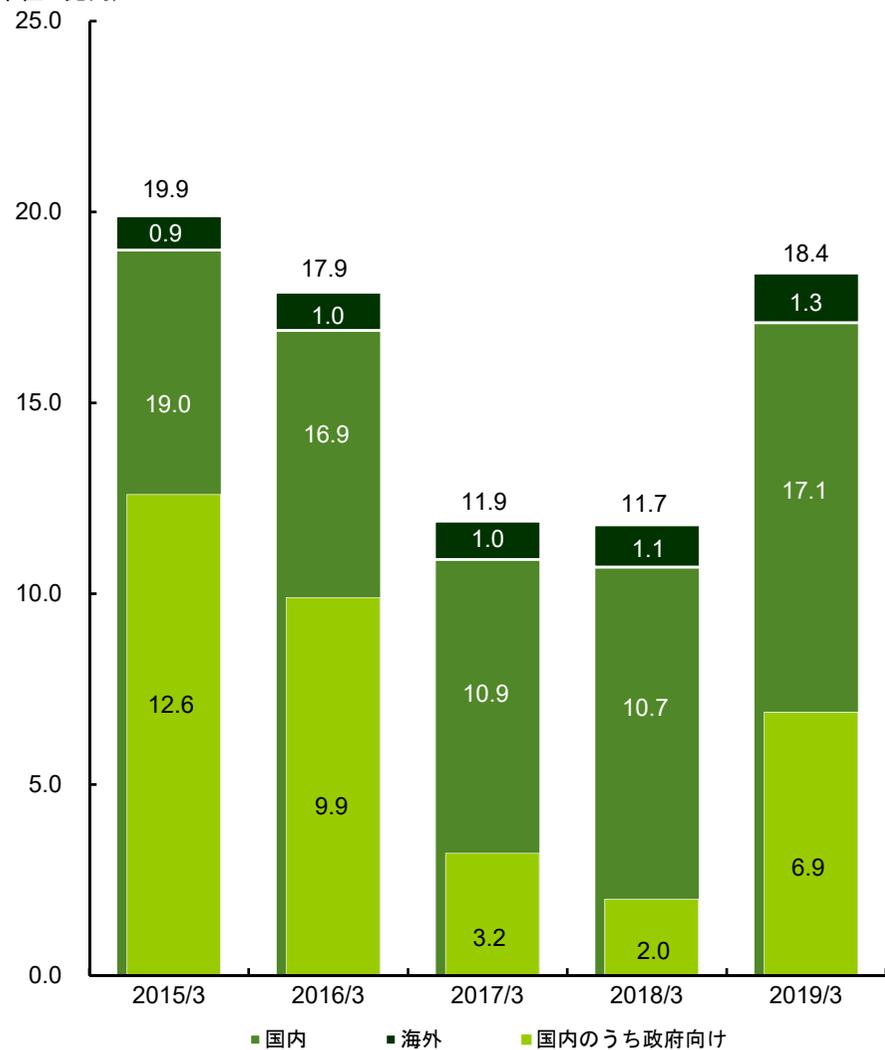


# 貸出金の状況（単体ベース）

- 政府向け貸出や国内外の法人営業貸出等の伸長を受けて貸出金が増加

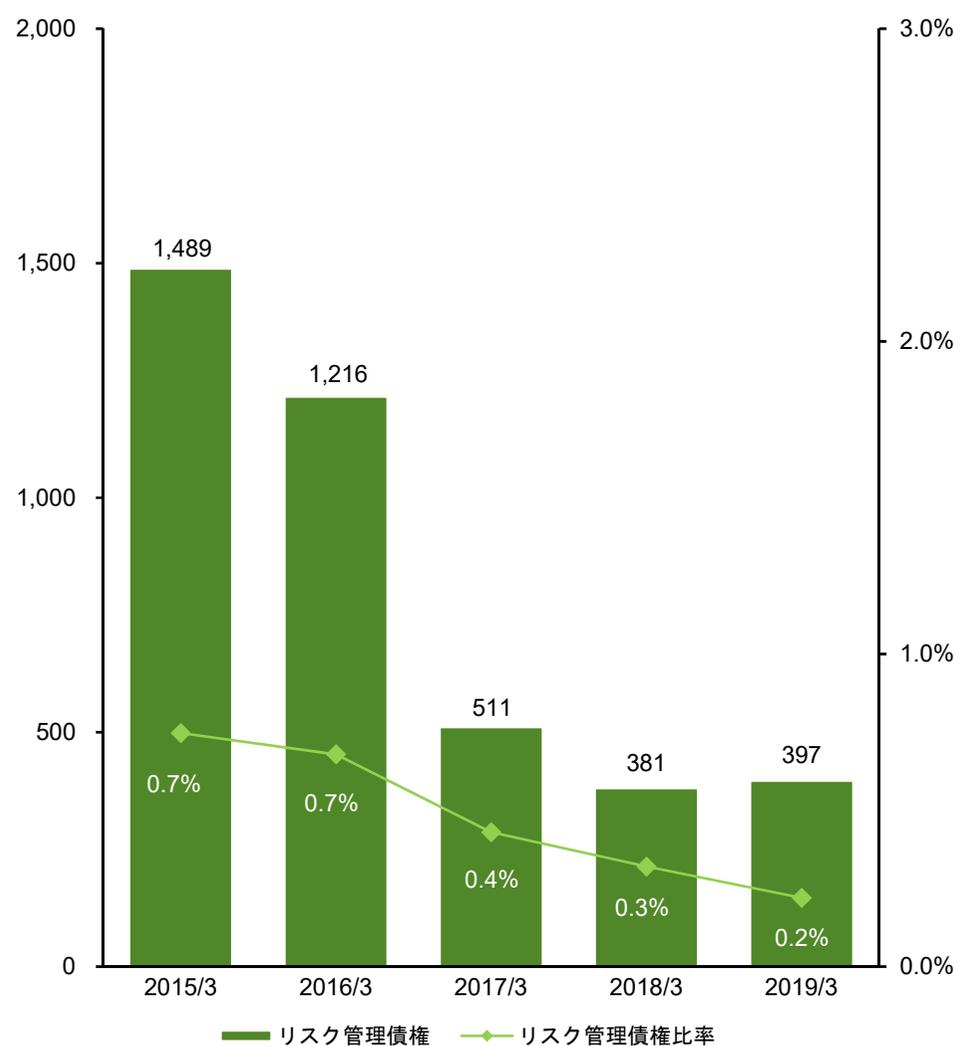
## 貸出金残高の推移

(単位: 兆円)



## リスク管理債権の推移

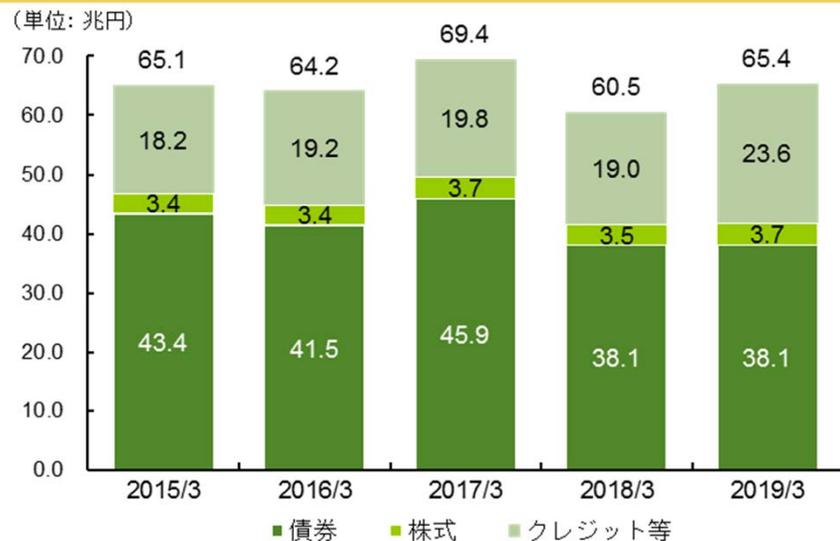
(単位: 億円)



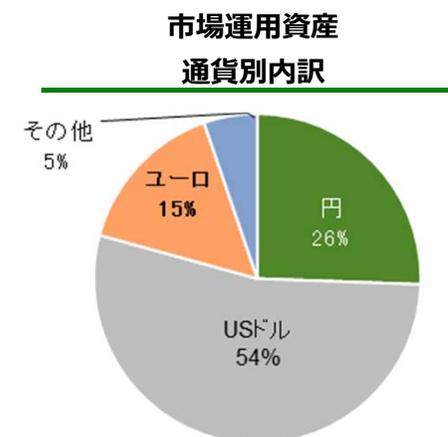
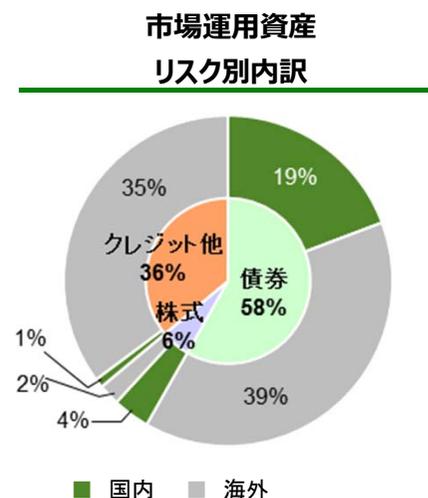
# 市場運用資産の状況（単体ベース）

- 有価証券評価益は2兆699億円。市場運用資産のうち約9割をA格以上の資産が占める

## 市場運用資産残高の推移



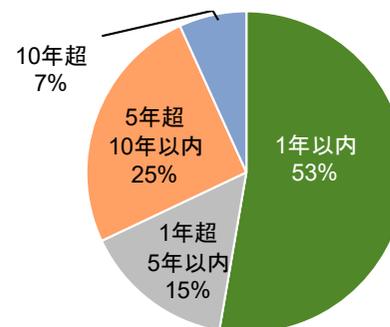
## 市場運用資産の状況（2019年3月末）



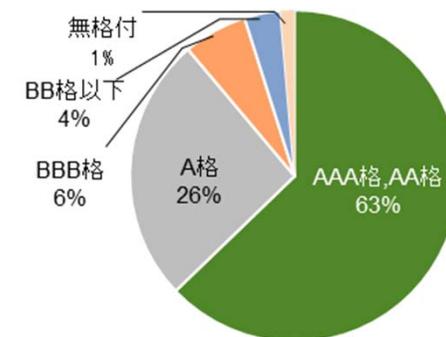
## 有価証券評価損益の推移



## 市場運用資産（満期がないものを除く） 金利更改満期別内訳



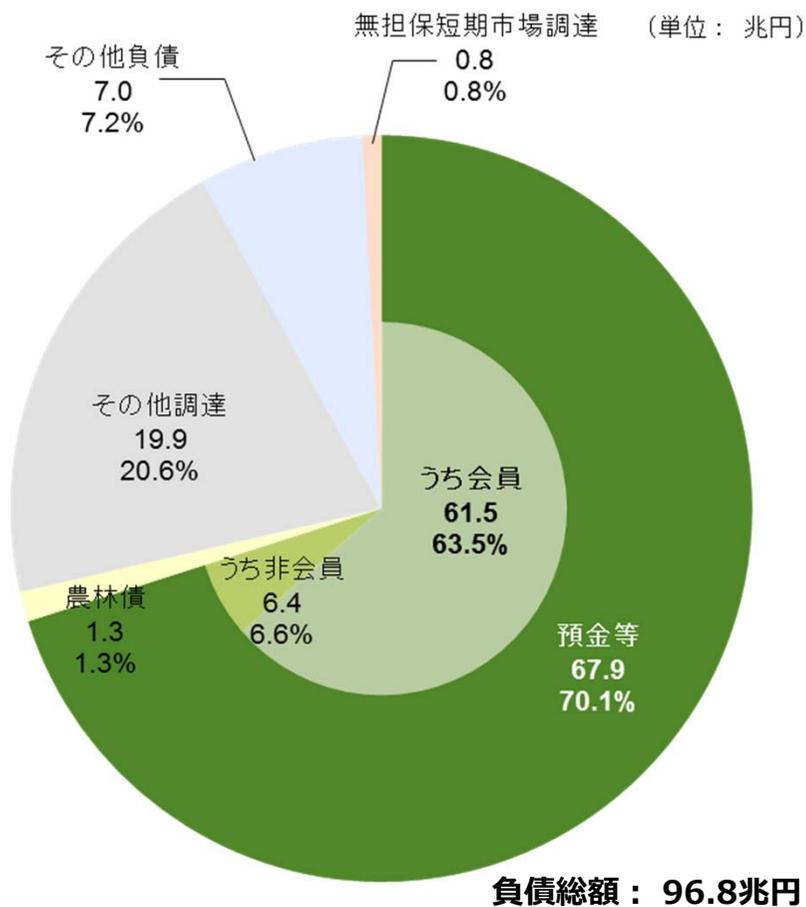
## 市場運用部門総資産 格付別内訳



# 資金調達状況（単体ベース）

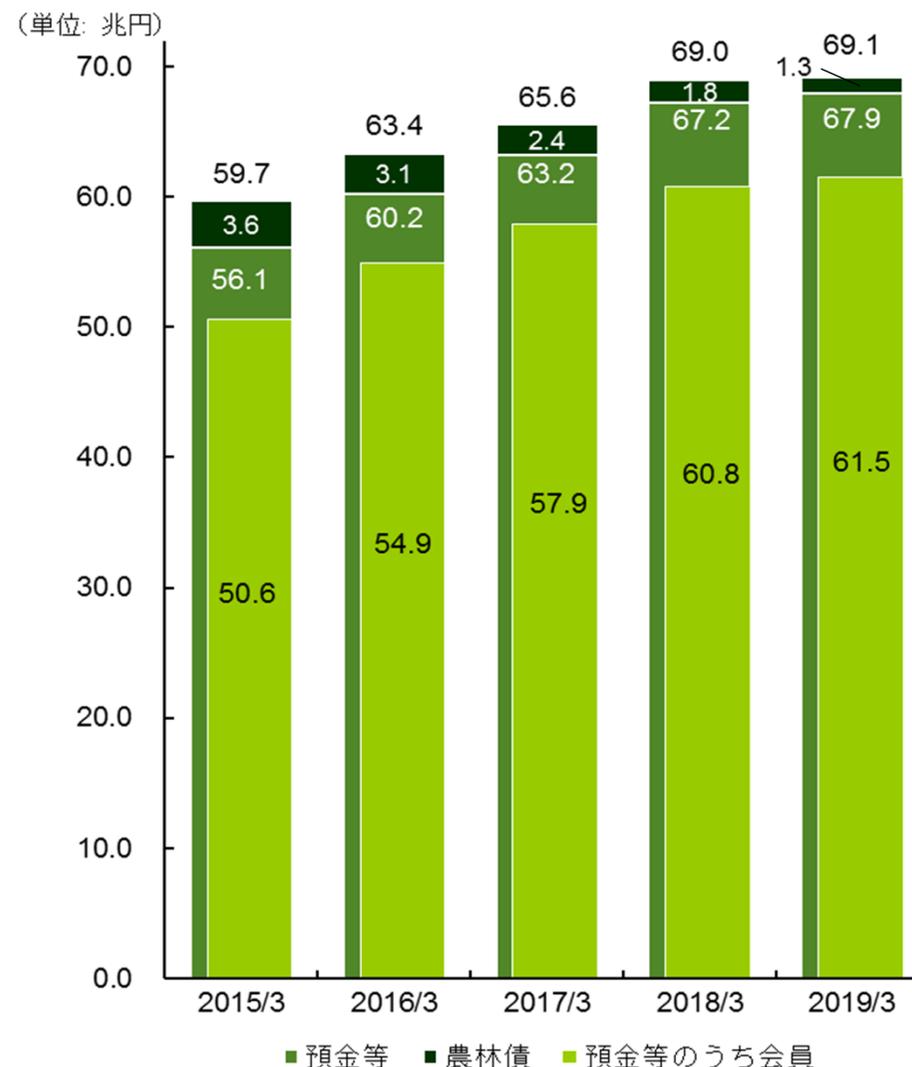
## ■ 会員からの預金を中心とする安定的な資金調達を実施

### 負債の種類別内訳



注：預金等は会計上の預金と受託金（会員からの短期資金受入が大半）。その他調達は有担保調達である売現先勘定・債券貸借取引受入担保金、および借入金（有担保、劣後ローン）等。その他負債は支払承諾、引当金等。無担保短期市場調達は特定取引負債、譲渡性預金および無担保コールマネー等

### 預金等・農林債残高の推移

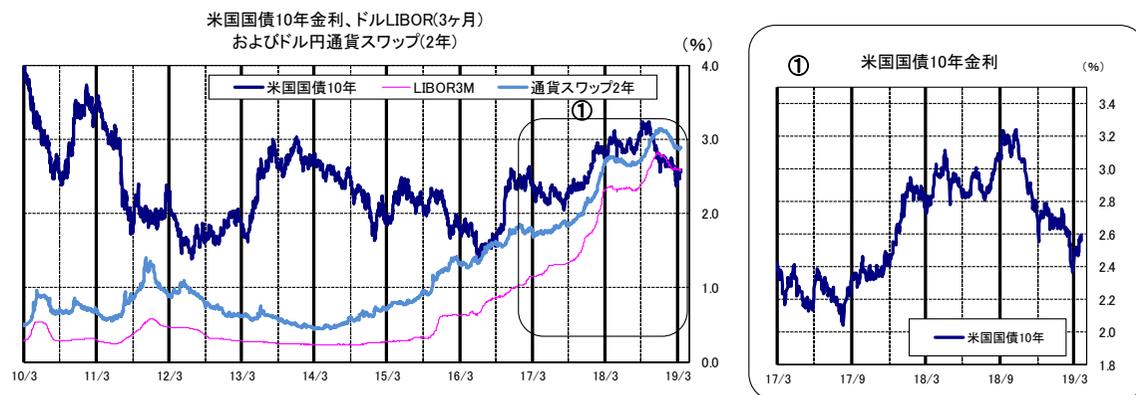


# 運用・調達利回り（単体ベース）

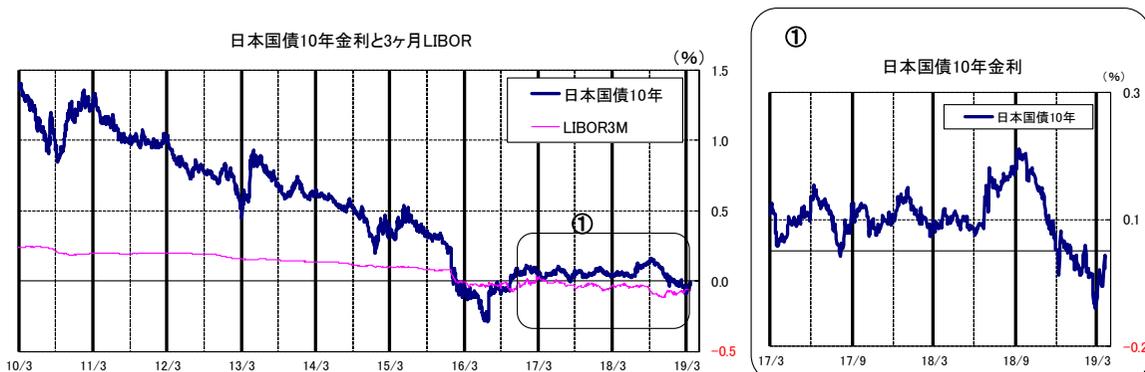
■ 有価証券等の利回りは売却損益の増加等により上昇。外貨調達利回りは上昇基調が継続

	平残（単位：兆円）		収支（単位：億円）		利回り	
	2018年度	前期比	2018年度	前期比	2018年度	前期比
<b>【運用の状況】</b>						
1 貸出金	14.1	2.6	1,039	277	0.73%	0.07%
2 有価証券等	55.9	▲ 4.2	14,145	1,790	2.53%	0.48%
3 円貨建有価証券等 （収支は売却損益含む）	15.8	▲ 1.1	2,360	2,270	1.49%	1.43%
4 外貨建有価証券等 （収支は売却損益含む）	40.0	▲ 3.1	11,785	▲ 479	2.94%	0.10%
5 短期運用資産等	2.8	▲ 2.5	113	57	0.40%	0.29%
<b>【調達の状況】</b>						
6 信連等調達	61.6	1.9	3,473	78	0.56%	▲ 0.01%
7 農林債券	1.5	▲ 0.5	34	▲ 21	0.23%	▲ 0.04%
市場調達・対顧調達等						
8 市場調達	24.9	▲ 5.1	3,282	949	1.31%	0.54%
9 円貨市場調達	3.2	0.4	▲ 2	▲ 2	▲ 0.01%	▲ 0.01%
10 外貨市場調達	21.7	▲ 5.5	3,285	952	1.51%	0.66%
<b>（参考）</b>						
11 外貨調達費用 （通貨スワップ等含む）	42.3	▲ 2.6	8,250	2,973	1.95%	0.78%

## （参考）米ドル金利の推移



## （参考）円金利の推移



# 自己資本比率等

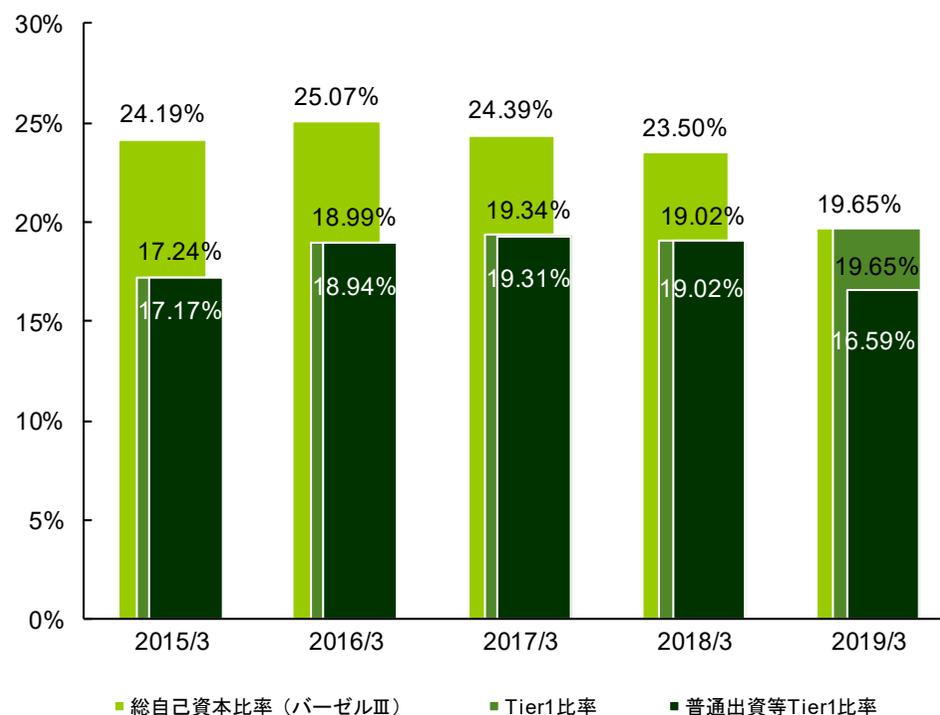
## ■ 自己資本比率はリスクアセットの増加を主因として低下も、引き続き高水準を維持

【連結】

(単位：億円)

	2018年3月末	2019年3月末	増減
1 Tier1	64,326	84,898	20,572
2 普通出資等Tier1(CET1)	64,308	71,705	7,396
3 うち資本金及び資本剰余金	34,555	40,152	5,597
4 うち利益剰余金等	19,178	19,215	37
5 うちその他有価証券評価差額金	11,528	15,017	3,489
6 その他Tier1	17	13,193	13,175
7 Tier2	15,134	11	▲15,122
8 うち劣後債務	15,132	9	▲15,123
9 総自己資本	79,461	84,910	5,449
10 リスク・アセット	338,103	432,002	93,898
11 普通出資等Tier1比率(CET1比率)	19.02%	16.59%	▲2.43%
12 Tier1比率	19.02%	19.65%	0.63%
13 総自己資本比率	23.50%	19.65%	▲3.85%

## 連結自己資本比率の推移



## 連結レバレッジ比率

	2018年3月末	2019年3月末
14 連結レバレッジ比率	6.03%	7.87%

## 連結流動性カバレッジ比率

	2018年度	1Q	2Q	3Q	4Q
15 連結流動性カバレッジ比率(注)	450%	443%	411%	378%	

注：項目15は対象四半期の平均値

# 市場運用資産(CLO)について

# 市場運用資産(CLO)について

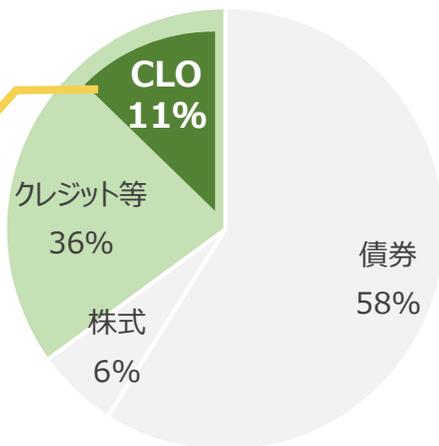
- 詳細な分析や適切なリスク管理態勢の下、リスク・リターンを勘案しながら慎重な投資を実施

## 投資残高の推移



## 市場運用資産に占める割合・資産内容

- 市場運用資産の11%
- 全てAAA格
- 全て満期保有目的



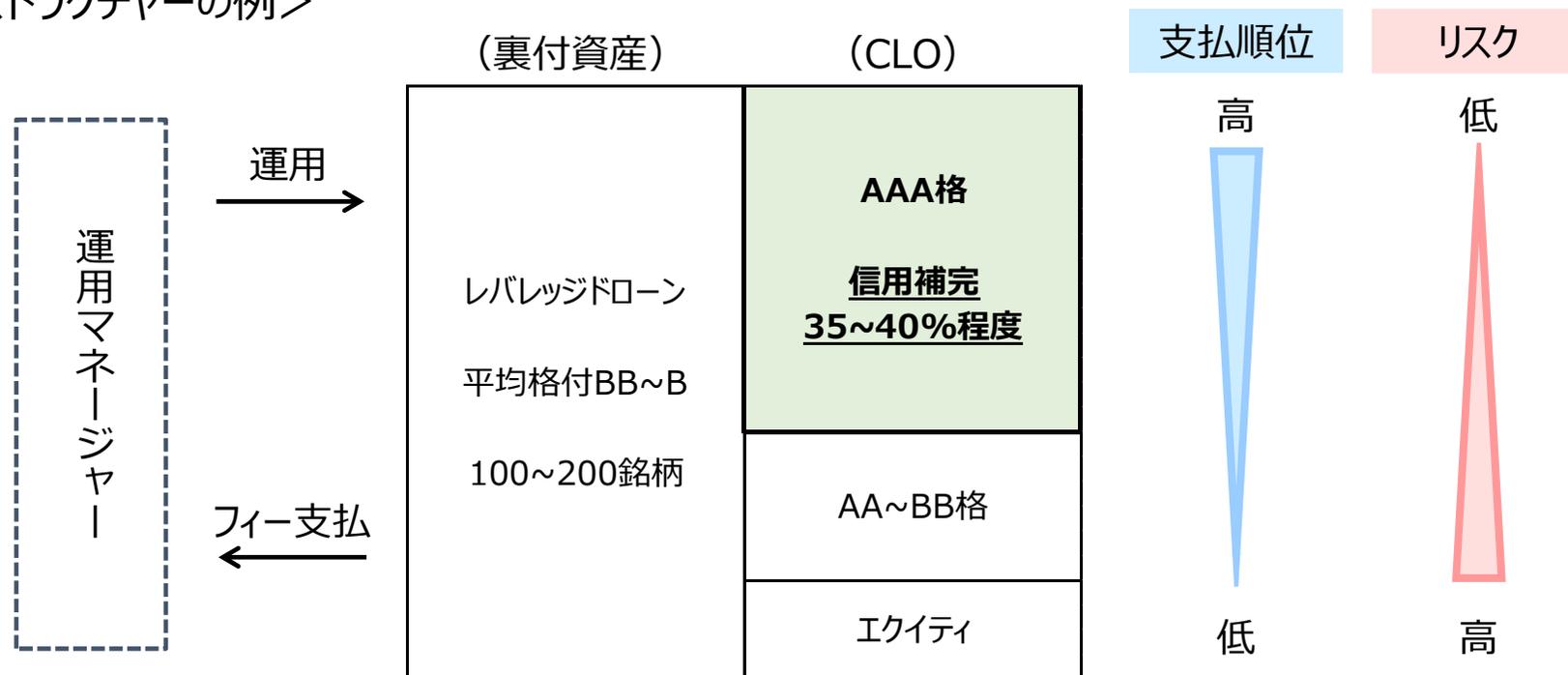
## 投資にあたっての分析・リスク管理

投資対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>• AAA格に限定</li> </ul>
裏付資産	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 組入可能資産についての厳格な基準設定</li> <li>• 裏付資産内の個別銘柄・業種の分析</li> </ul>
ストラクチャー	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 信用補完水準等についての独自ガイドライン</li> <li>• 当金庫独自の厳格なストレステスト</li> <li>• ミドル部門による全件審査</li> </ul>
運用マネージャーの選定	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 投資前のデューデリジェンスを通じた、運用能力・投資スタンスの確認</li> </ul>
投資後のモニタリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>• マネージャーとの綿密なコミュニケーション</li> <li>• 投資ガイドライン遵守状況、運用方針、裏付資産の質等の確認</li> </ul>

# (参考)CLOの概要

- CLO(Collateralized Loan Obligation)とは、レバレッジドローンを裏付資産とし、支払順位の優先・劣後を切り分けた証券化商品
- レバレッジドローンとは、主に非投資適格(BB+格以下)の企業の負債調達手段であり、企業的全資産を担保とするもの
- AAA格・AA格については、リーマンショック前後を通じて元本毀損の実績なし
- 主要な投資家は、安定的かつ長期の調達基盤を持つ銀行・保険・年金等

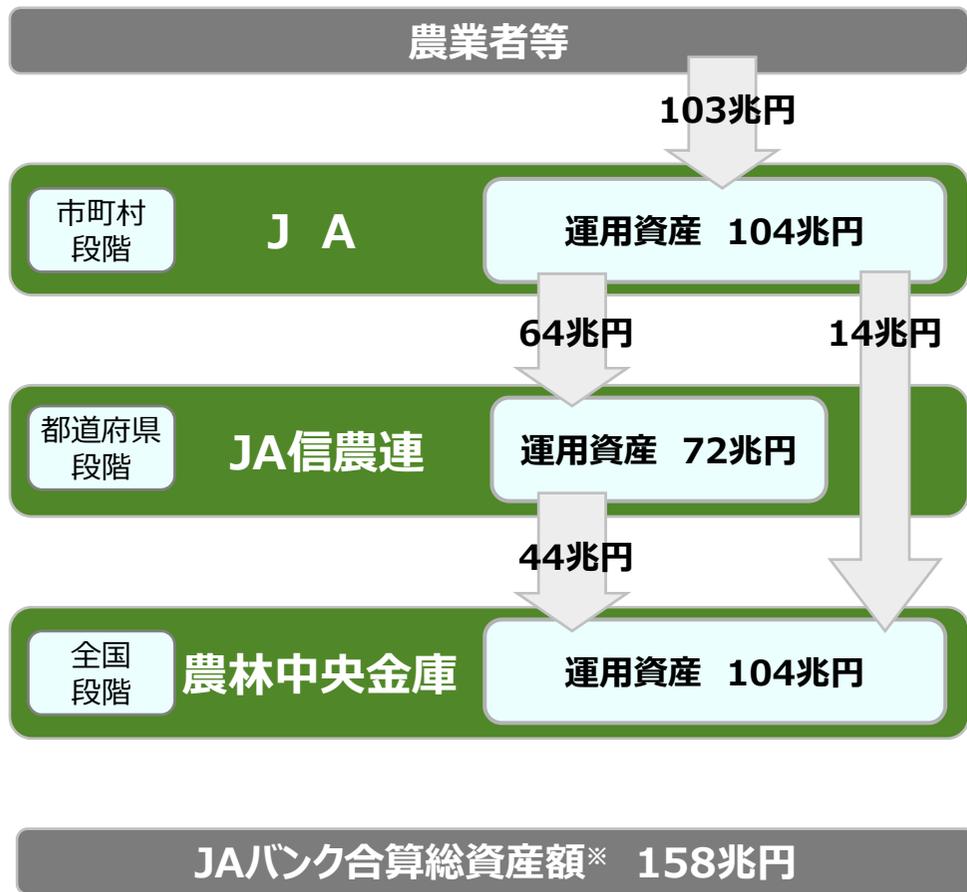
＜典型的なストラクチャーの例＞



# Appendix

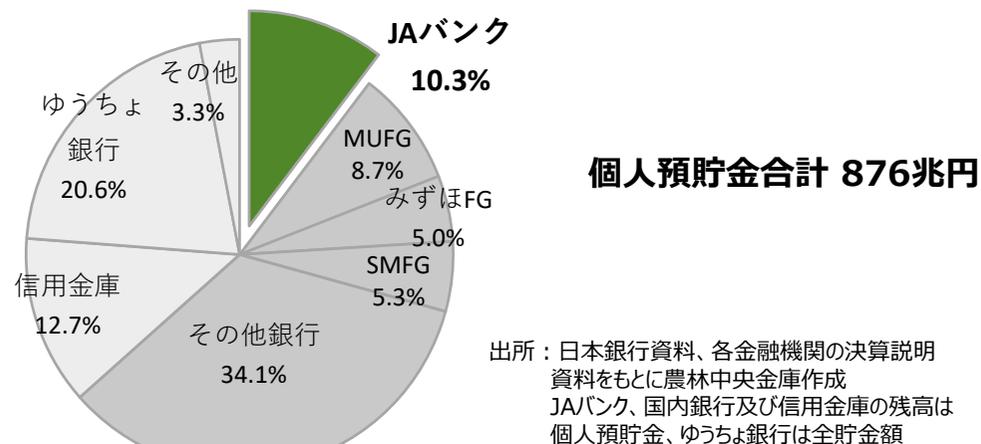
# JAバンクの事業基盤

## JAバンクにおける預貯金の流れ（2019年3月末）

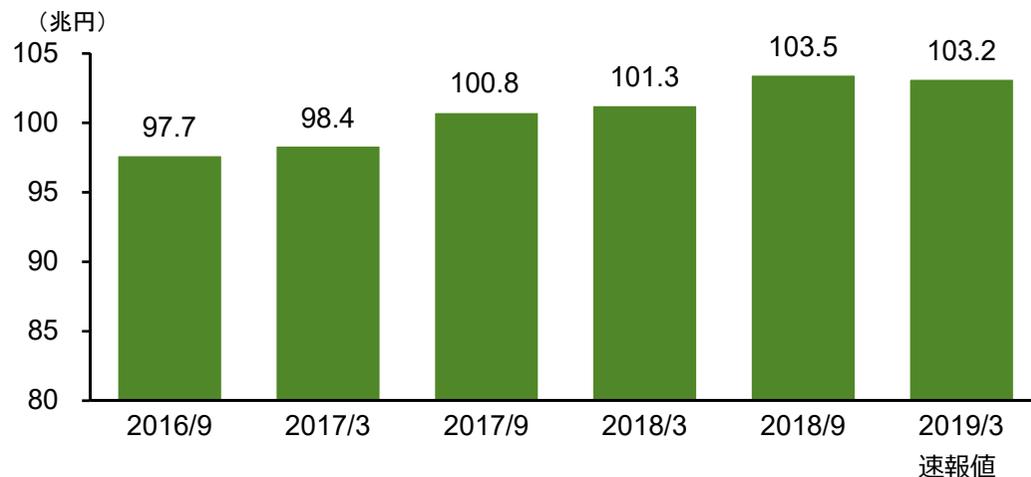


※ 合算総資産額：運用資産－預け金

## 国内個人預貯金残高シェア（2018年9月末時点）



## JA貯金残高の推移



# ご利用の皆様へ

- 本プレゼンテーション資料に記載されている情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等についての検証を行っておらず、また、これを保証するものではありません。弊金庫は、本プレゼンテーション資料に記載されている情報の利用から生じる損害が直接的、また、間接的であるかに関わらず、何ら責任を負いません。
- 本プレゼンテーション資料には、弊金庫に関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述は、当金庫が現在入手している情報に基づき、本プレゼンテーション資料の作成時点における予測等を基礎としてなされたものです。また、これらの記述は、一定の前提（仮定）の下になされています。これらの記述または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり、または将来実現しない可能性があります。
- 本プレゼンテーション資料は、有価証券の販売のための勧誘を構成するものではありません。